

平成30年度 第1回 座間総合協議会（学校運営協議会） 会議録

平成30年6月2日（土）

10時00分～11時30分

場所：第二応接室

【出席者】

- 曾根 寿太郎（栗原地区の地域代表）
大西 太郎（座間市栗原中学校区青少年健全育成連絡協議会会長）
金井 徳兼（神奈川工科大学創造工学部教授）
廣瀬 道（国際フード製菓専門学校校長）
加藤 充洋（神奈川県立総合教育センター教育指導専門員）
山梨 彰（NPO法人多文化共生教育ネットワーク
多文化教育コーディネーター）
土井 みどり（座間総合高等学校 P T A会長）
山本 聡（座間総合高等学校長）

【欠席者】

- 梶 弘之（座間市立栗原中学校長）

【座間総合高等学校出席者】

- 高間 明浩（副校長 司会）
永吉 寛行（教頭）
永田 千里子（管理運営グループ 記録）

平成30年度 第1回 座間総合協議会（学校運営協議会） 次第

- 0 委嘱状交付
- 1 開会 （副校長）
- 2 自己紹介
- 3 校長挨拶
- 4 会長及び副会長の選出
- 5 学校運営協議会について （副校長）
- 6 協議事項
平成30年度 学校運営に係る基本的な方針についての承認
- 7 年間計画について （副校長）
- 8 閉会

【記録】 (○：座間総合協議会委員 ●：学校職員)

3 校長挨拶

- 本校の教育の2本柱は「国際理解」と「キャリア教育」。約80名の外国につながるのある生徒への支援とキャリア支援において、地域との連携は不可欠。学校運営協議会の役割は大きい。
- 今年度開校10年目を迎え、学校の充実期に入り、様々な業務の見直しを進めている。「基礎学力の定着」や「体験学習を通じた自己肯定感の向上」をめざして教育活動を行っている。

4 会長及び副会長の選出

会長 加藤 充洋 副会長 大西 太郎

6 協議事項 平成30年度 学校運営に係る基本的な方針について

○在県外国人等特別募集で入学した生徒の学習言語について、習得するためには「文法」の知識が不可欠である。

○在県支援会議は機能しているのか。

●昨年度は3回開催し、情報共有のうえ学校全体で指導に当たった。

○在県生徒については、生活の支援も必要である。

●サポートティーチャーや多文化教育コーディネーター、日本語を母語としない生徒支援派遣事業、外国につながるのある生徒への学習支援員派遣事業を活用して支援に当たっている。

○校長挨拶にあった「基礎学力の充実」については、学校目標に盛り込み、核とすべき。基礎学力を充実させるには、地域の小中学校との連携も視野に入れるべき。また、読書量を増やし、「文章力・日本語力」を身に付ける教育活動を期待している。

●教員は「基礎学力の充実」については、学校運営の基本ととらえている。ご意見を踏まえて、教育活動に反映させていきたい。

○小学校では、「残さず食べる」という給食指導を行っている。中学校では、運動や栄養の足りない生徒が散見される。小中学校では、学習以外の家庭教育の不足が課題となっている。

※座間総合高等学校グランドデザイン・学校教育計画・平成30年度学校目標等の平成30年度の学校運営に係る基本的な方針について承認を得た。
併せて、「教育課程の編成」「学校組織の編成」「学校予算の執行」「学校施設及び設備等の管理及び整備に関する事」についても承認を得た。